

61 助動詞は日本文のスパイスである

助動詞の学習は、「活用や意味を暗記しなくてはいけない」というままで止まってしまうがちです。しかしながら、日本文の表現の繊細さ、奥行きは助動詞に宿ります。言うなれば助動詞は料理におけるスパイスのようなもの。それだけでは食べることが出来ませんが、食材の中で効かせることによって素材のうまみを引き立て、豊かな風味を生み出します。本講座では、助動詞が文脈の中でどう生きるか？という視点から、古典作品を読んでみましょう。

講師

大津 直子 准教授

専門分野

中古文学

現在の研究テーマ

『源氏物語』を中心とした平安文学、ならびに谷崎潤一郎が手掛けた『源氏物語』訳に関する研究

担当科目

古典文学入門、上代文献講読

出講可能日

月・金曜日

講義に必要な機材

特になし

62 〈浦島太郎〉を研究する方法

浦島太郎や一寸法師、鉢かづきといった日本の昔話の多くは、じつは江戸時代の絵本やそれ以前の絵巻に遡ることができます。私の講義では、挿絵とともに読み継がれてきた日本の物語を研究する方法をご紹介します。

講師

宮腰 直人 准教授

専門分野

日本古典文学・古典文化史の研究 とくに中世の絵巻・絵本や語り物の研究に取り組んでいます。

現在の研究テーマ

お伽草子、幸若舞曲、古浄瑠璃、説経に取材した絵巻・絵本の研究

担当科目

日本文化基礎演習A、特殊講義D（近世文学）

出講可能日

水曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、パソコン

63 映画に何ができるか

好きな小説が映画になったとき、おもしろいと思えた瞬間、がっかりした瞬間はありませんか。なぜそう思えたのかを手がかりに、近年の作品や批評、論考の読解を通じて、映画の特徴を考えます。映画は娯楽であり、学問の対象ともなりうる、魅力的かついかがわしい「何か」です。何が映画を構成しているのか。映画にできること、できないことは何か。その魅力や可能性、限界に迫り、映画の特徴を明らかにしましょう。

講師

宮本 明子 助教

専門分野

表象文化論

現在の研究テーマ

映画と文学の相関研究、小津安二郎監督作品を中心とする日本映画研究

担当科目

日本文学の世界、近代文学入門

出講可能日

月・火・水・土曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン

64 古典文学(百人一首、源氏物語など)を楽しく味わうために

古文の教科書に掲載されている古典文学を題材にして、高校の授業では味わえないような文学的な読み方ができるということをお話しします。もちろんそのためには、みなさんには積極的に古典と向き合う姿勢を持つことが求められます。みなさんに古典文学の面白さを伝えられたらと願っています。

講 師

吉海 直人 特任教授

専 門 分 野

平安朝の物語及び和歌文学、
特に源氏物語と百人一首

現在の研究テーマ

百人一首の総合研究

担当科目

平安文献講読、日本文学の世界

出講可能日

水・木曜日

講義に必要な機材

特になし

65 夏目漱石『坊っちゃん』研究

夏目漱石については、一般に非常にいいイメージが流布していますが、これは漱石の門下生が中心になって作り上げてきた神話に過ぎず、実際の漱石は、強度のノイローゼで、様々な妄想に苦しんでいました。一体、漱石はどうしてノイローゼになったのか、また漱石のノイローゼと作品はどう関わっているのか、『坊っちゃん』を例に考えてみたいと思います。

講 師

生井 知子 教授

専 門 分 野

日本近代文学

現在の研究テーマ

白樺派の研究

担当科目

近現代文学入門、日本文学の世界

出講可能日

月曜日

講義に必要な機材

特になし